

UIFA ニュース

第 17 号

平成 9 年 11 月

※ 発行 宇治市国際親善協会

事務局：宇治市宇治琵琶 33 宇治市役所秘書課内

TEL 0774-22-3141 内線 2059



▲ 10周年記念祝賀会であいさつする谷岡会長（11月15日）

設立10周年記念事業を実施

記念講演会・祝賀会に延べ270名が参加

宇治市国際親善協会は、市民レベルの国際交流を進めるため昭和62年（1987）3月28日に設立され、本年度で設立10周年を迎えました。

これを記念して、11月15日には講師にラグビーの大八木淳史氏（神戸製鋼）を招いて記念講演会を開催。会場の宇治市生涯学習センターには、会員や市民約150名が参加してラグビーと国際交流の話に熱心に耳を傾けていました。

その後、夕方からは来賓の久保田市長や菅野議長、そして会員約120名が参加した記念祝賀会が開催されました。

谷岡会長は開会の挨拶の中で、これまでの10年を振り返りながら「国際化・国際交流は、外交官や学者などを主とするものから、今や市民中心のものへと進んできている。何のための国際化・国際交流なのか。それは世界を心に入れた人間になっていくことである」と10周年を祝するとともに、更なる充実を叫びかけました。

その後、催しを鑑賞したり10年間の思い出を語り合いながら会員間の交流を深め、盛会のうちに閉会しました。

地域の国際化を進める 人づくり、街づくりを

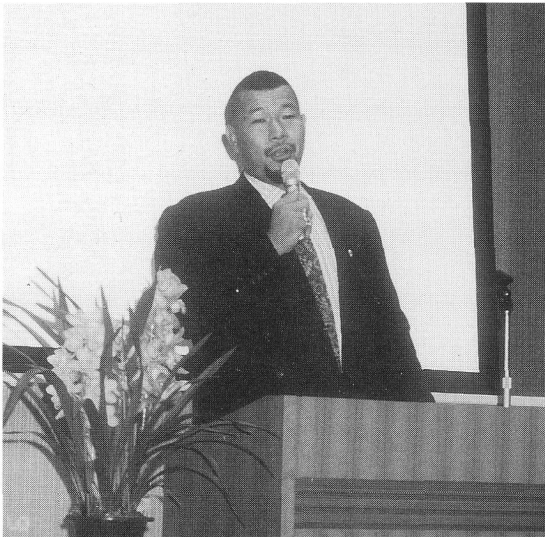
祝賀会は、15日午後4時半から鹿六で開かれ、来賓の久保田市長から「国際親善協会と協力して、21世紀に向けて地域の国際化を進める人づくり、街づくりを進めていきたい。」また菅野議長からは、「10周年を契機に更なる発展を」と、それぞれ挨拶を受けました。



▲ AETもカナディアンダンスを披露 (11月15日)

オープンセレモニーでは、中国の四大演劇の一つで河南省の伝統演劇「豫劇」を、最高級女優で現在は同志社大学に留学中の張虹さんが演じ、10周年に華を添えていただきました。

また、祝賀会にはスリランカのナレンドラさん、カムループス市から招いている3名のAETにも参加していただきました。



▶ ユーモアを入れて話す

大八木淳史さん (11月15日)

記念講演会

祝賀会に先駆けて開催された記念講演会には、市民や会員約150名が参加。講師の大八木さんのユーモアを入れたラグビー人生の話に熱心に耳を傾けていました。

講演のなかで大八木さんは、「一九八八年の日本一になった年に次の目標を世界一を掲げた。マスコミから書き立てられたが、目標に向かって努力するという志は、高く持たなければならぬ」とラグビー生活を通して得た貴重な体験などをぎっくばらんに話され、参加者の皆さんは興味深く聞き入っていました。



▲ 熱心に耳を傾ける会員や市民の皆さん (11月15日)

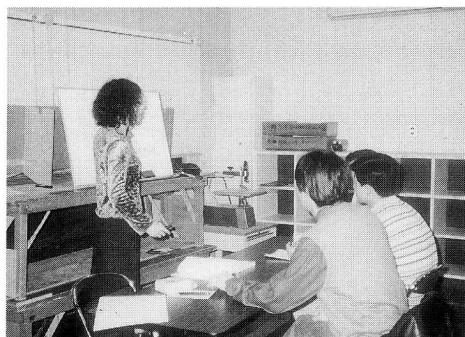


▲ 学習に励む受講生（平盛ふれあいセンター。
上…初級、右下…上級クラス）

中国帰国者の自立支援 日本語講座に60名が学ぶ

宇治市国際親善協会が、平成9年度事業として6月から取り組んだ中国帰国者対象の日本語講座は、会員のご支援と多くのボランティアの熱意により運営され、現在20代から50代の約60名の皆さんが毎週金曜日の夜7時から学習に励んでいます。

講座は、入門級、初級、中級、上級に分かれており、入門級では「あいうえお」をノートに書いて、覚えることから始まります。上級クラスでは、



講師の日本語の内容を理解し、中国語で答えるという内容の濃い学習が行われています。

受講生は昼間の仕事を終えての学習ですが、一日も早く日本語を覚えて日常生活に役立てたいと休憩時間も惜しんで勉強に励んでおられます。

親善協会では、本講座への支援を会員の皆さんに呼び掛け多くの皆さんから賛助金をいただきました。

こうした熱意が大きく実り、受講生の日本語の上達と国際交流が深まることを願っています。

宇治市とスリランカ国ヌワエリヤ市は、「宇治茶」と「セイロン紅茶」の共に名品の茶が縁で池本前宇治市長の時に交流が始まりました。それとほぼ同じ時に「スリランカ友の会」が結成され今年で丁度十一年になります。その間ヌワエリヤ市への友好訪問、又宇治市への来訪があるなど、交流を続けるに従って友好の輪の広がりが肌で感じられるようになりました。

私達は互いに着飾らない普段着の交流を深めてゆくために市民レベルでの活動を続けています。

その活動の一環として異なった文化を真に体験するためスリランカ料理教室や民族衣装「サリー」を実際

市民レベルの国際交流

スリランカ友の会
事務局長 今村周子

に身につける着付教室を開催、伝統舞踏のキャンディ・アンダンスをチャンパ・ケピテノポラさんから教わり平成六年十一月の宇治市緑化フェアの催しで、宇治市植物公園の舞台で披露致しました。これを機に彼女を講師に迎えキャンディ・アンダンスサークルを作り、木幡公民館で月二回の練習をしています。

また、スリランカの留学生を講師に迎えてスリランカの歴史や文化を勉強する機会を持つなど積極的に取り組んでいます。会ではこの様な「国際交流講座」を更に内容の充実を図りながら続けようと頑張っています。

皆様のご参加をお待ちしております。

友好を深めて帰国

咸陽市訪問団17名

10月13日に出発した咸陽市訪問団（高田実団長）17名が20日、無事に帰国しました。

訪問団は、14日に咸陽市政府を表敬訪問、董志孝副市長はじめ政府要人と懇談しました。咸陽市滞在中は、実験小学校など教育施設の視察や懇談を行い交流を深めたほか、西安、三峡など中国の史跡を視察し見聞を深め、楽しい思い出を持って帰国しました。



▲ 実験小学校の授業を参観する団員の皆さん（10月15日）



▲ 彩虹中学校を訪問して教育事情を視察（11月15日）

語学講座始まる

講師にAETのアリソンさん

平成9年度の語学講座（中国語、英語）が10月1日から始まりました。今回は、中国語に11名、英語に19名が受講、来年2月まで16回開催されます。

中国語の講師には郝偉さん、英語はAETで今年8月に赴任したアリスン・パーカーさんに担当いただいています。開講式では、谷岡会長から激励の挨拶を受けた後、早速、クラスに分かれて講座が始まりました。

会費納入のお願い

平成九年度の会費を、まだ納入いただいていない方は納入していただきますようお願いいたします。

また、住所の変更などがありましたら事務局までご連絡ください。会費は次のとおりです。

- ▼個人会費 二千円
- ▼団体会費 五千円
- ▼法人会費 一万円

宇治市国際交流基金

ご協力ください

宇治市では、昭和六十二年三月、国際交流の推進と、青少年の海外研修派遣、外国人留学生への生活援助その他の国際交流事業に寄与することを目的に「宇治市国際交流基金」を設置。基金の目標額を一億円とし、その運用益で事業を展開することになっています。

これまで多くの団体、市民の皆さんからご協力をいただき、その総額は約三千八百万円となっていますが、目標額にはまだまだ遠い額です。宇治市の国際交流の推進と、本協会の活動を一層高めるため、本基金へのご協力をお願いします。